

各位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 雄二
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 取締役経営企画・管理統轄 桃井 茂
 (TEL 075-631-3292)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年1月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,300	120	420	230	16.03
今回発表予想(B)	15,161	157	459	175	12.05
増減額(B-A)	△139	37	39	△55	
増減率(%)	△0.9	30.8	9.3	△23.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	17,304	746	891	459	31.45

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,500	△240	100	70	4.88
今回発表予想(B)	5,344	△232	138	△63	△4.34
増減額(B-A)	△156	8	38	△133	
増減率(%)	△2.8	—	38.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	6,922	151	433	237	16.25

修正の理由

(連結業績)

売上高につきましては、主として国内(個別業績)において特に在庫調整や消費減速の影響を受けた自動車関連分野や家電関連分野の受注が低調に推移したため、前回予想値を139百万円下回り15,161百万円となる見通しです。一方で、海外子会社等の売上につきましては、ほぼ前回予想通りに推移しました。

営業利益につきましては、売上高が前回予想値を下回ったものの、人員体制や経費全般の見直しを行いグループを挙げてコストの削減を進めた結果、前回予想値を37百万円上回る157百万円となる見通しです。

経常利益につきましては、上記営業利益と同様の理由から前回予想値を39百万円上回る見通しです。

当期純利益につきましては、これまで、連結財務諸表の作成上、海外連結子会社の留保利益については、将来の配当時に負担することになる税金を繰延税金負債に計上するとともに、海外連結子会社からの配当金については、外国税額控除にかかる繰延税金資産を計上しておりましたが、平成21年3月31日公布の法人税法の改正により、外国子会社配当金益金不参入制度が導入されたことに伴い、平成21年3月期において、繰延税金負債および繰延税金資産を取り崩すこととなりました。また、株価低迷に伴う投資有価証券の評価損が増加したことなどにより、前回予想値を55百万円下回り175百万円となる見通しです。

(個別業績)

売上高につきましては、前回予想値を156百万円下回り5,344百万円となる見通しですが、主な修正理由は上記連結業績修正理由に記載の通りです。

営業利益につきましては、売上高が前回予想値を下回ったものの、上記連結営業利益修正理由の通り、削減可能な費用の見直しを強力に進めた結果、前回予想値を8百万円上回り232百万円の損失となる見通しです。

また、経常利益につきましては、上記営業利益の増加要因に加え、海外子会社からの配当金が増加したため、前回予想値を38百万円上回る見通しです。

当期純利益につきましては、上記連結業績記載の理由のうち主として繰延税金資産の取り崩しおよび投資有価証券の評価損の増加により、前回予想値を133百万円下回り63百万円の損失となる見通しです。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想とは異なる場合があります。

以上